

廃棄物処理施設における放射能濃度測定結果【H23年9月測定分】

一関地区広域行政組合では、廃棄物処理施設において、放射能濃度測定を実施しました。測定結果は、以下のとおりです。

測定値の単位：主灰・飛灰・不燃物等・脱水汚泥【Bq/kg】：排ガス：【Bq(N)】：放流水【Bq/L】

施設名	測定項目	採取日時	放射性セシウム測定値	放射性ヨウ素測定値	検出下限値 (134/137)
一関清掃センター ごみ焼却施設	主灰	H23.9.27 10:00	1,090	不検出	21 / 21
	飛灰	H23.9.27 9:50	7,400	不検出	48 / 40
大東清掃センター ごみ焼却施設	飛灰	H23.9.26 9:20	1,660	不検出	20 / 19
	不燃物等	H23.9.26 8:50	570	不検出	17 / 20
一関清掃センター し尿処理施設	脱水汚泥	H23.9.27 10:50	41	不検出	18 / 9.1
川崎清掃センター し尿処理施設	脱水汚泥	H23.9.26 10:00	24	不検出	15 / 18
舞川清掃センター 最終処分場	放流水	H23.9.27 9:20	2.1	不検出	1.5 / 1.9
	上流井戸	H23.9.27 9:40	不検出	不検出	2.1 / 1.8
	下流井戸	H23.9.27 9:55	不検出	不検出	1.9 / 2.9
東山清掃センター 最終処分場	放流水	H23.9.26 10:00	不検出	不検出	2.0 / 1.8

- ・「不検出」とは、検出下限値未満であることを示します。
- ・放射性セシウム測定値は、放射性セシウム 134 と放射性セシウム 137 の合計値です。
- ・舞川清掃センターの放流水の放射性セシウム値の「2.1」は、セシウム 134 の値であり、セシウム 137 は不検出です。なお、一般廃棄物最終処分場で、浸出水のモニタリングの目安とされている線量限度は、セシウム 134 で 60 ベクレル/kg で、セシウム 137 では、90 ベクレル/kg とされています。
- ・焼却灰については、放射能濃度が 8,000 ベクレル/kg を超える場合は、「一般廃棄物焼却施設における焼却灰の測定及び当面の取り扱いについて（平成 23 年 6 月 28 日環境省事務連絡）」により措置を講ずることとされています。
- ・「肥料に利用する放射性物質を含む汚泥の取り扱いについて（平成 23 年 6 月 24 日農林水産省消費・安全局）」により、汚泥中の放射性セシウム濃度が 200 ベクレル/kg 以下は肥料原料としての利用が認められています。

廃棄物処理施設における空間線量率測定結果【H23年9月測定分】

一関地区広域行政組合では、廃棄物処理施設において、空間線量率測定を実施しました。測定結果は、以下のとおりです。

測定値の単位：【 $\mu$  Sv/h】

施設名	測定場所	測定日時	測定値		備考
			地上 0.5m	地上 1 m	
一関清掃センター	施設内 10 地点 (うち屋内 1 地点)	H23.9.27 8:40 ~ 10:30	0.17~0.35	0.17~0.34	
			0.16	0.19	屋内
大東清掃センター	施設内 10 地点 (うち屋内 3 地点)	H23.9.27 13:23 ~ 16:39	0.16~0.6	0.17~0.45	
			0.09~0.13	0.10~0.13	屋内
舞川清掃センター	施設内 7 地点	H23.9.27 11:05 ~ 12:14	0.28~0.49	0.29~0.5	
東山清掃センター	施設内 5 地点	H23.9.27 15:16 ~ 16:07	0.37~0.48	0.38~0.48	

- ・測定値は、測定地点ごとに 30 秒間隔で 5 回測定した平均をとり、その最小値から最大値をまとめたものです。
- ・一関清掃センターの屋内の測定地点は、「ごみ焼却施設飛灰ピット」です。
- ・大東清掃センターの屋内の測定地点は、「プラットホーム」、「不燃物・鉄分積出室」、「安定化物積出室」です。